

はじめに

愛知県芸術劇場は、愛知県の拠点的な文化施設であり、「創造の 場」や「鑑賞の場」としての役割を果たすだけでなく、地域の将来を 担う子どもたちへの普及教育にも重点的に取り組んでいます。

その一つとして、全ての子どもたちに、義務教育の期間中に一度は 劇場で舞台芸術を体験してもらいたいという想いから、2015年度に 「劇場と子ども7万人プロジェクト」をスタートさせました。

しかし、愛知県芸術劇場だけでは、プロジェクトの目標を達成する ことはできません。県内の自治体、市町村劇場、そして、教育委員会 および学校関係者、民間企業を始めとする多くの皆さまに、プロジェ クトの趣旨をご理解・ご賛同いただき、一体となって、この取り組みを 推進していきたいと考えております。

教育・多文化共生:

ニケーションプログラムなど

また、作品の作り手が、子どもたちに劇場を好きになってもらえる ような工夫をすることも、大変重要なことだと思います。劇場を始め とする、作り手側の関係者の皆さまも含め、関係する多くの方々に、こ の報告書を参考にしていただき、子どもたちの舞台芸術体験の拡 大、充実につながることを期待しております。

そして、子どもたちに「劇場って楽しい!|と感じてもらえること、さら に、その経験が子どもたちの豊かな人間性や感受性を育み、可能性 を開花させるきっかけとなることを、心から願っています。

愛知県芸術劇場館長 丹羽康雄



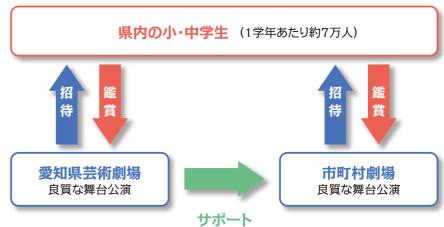
愛知県芸術劇場は 5つのミッションの達成のため、6つのプロジェクトを推進します

ミッション -つくる みる ひろげる つなぐ・そだてる こたえる 国内外に芸術文化を 優れた舞台芸術の 舞台芸術のすそ野を 地域全体の文化力を 地域の課題に 鑑賞の場を提供する劇場 広げる劇場 創造・発信する劇場 高める劇場 応える劇場 鑑賞プロジェクト 発信力強化プロジェクト 貸館公演 オペラ、コンテンポラリー ダンス、現代演劇、実験的な オペラ ー 海外招聘ダンス バレエ 舞台のプロデュース 現代演劇 オーケストラ 国内外でもプロデュース作品 現代音楽 ミュージカル オルガン 等 普及教育プロジェクト 連携・交流プロジェクト ▶「劇場と子ども7万人プロジェ ミッション 市町村との連携による巡回 クト」の推進 公演、ワークショップ、研修 の ●ファミリー・プログラムの充実 アートマネジメント研修 対象別(乳幼児・入門者・ 達成 コアファン・障がい者など)の ●舞台芸術人材養成ラボ プログラム実施 ()6)「雇用と財源」安定化プロジェクト 社会課題対応プロジェクト ●都市の活性化:地域と協働した 外部研修の実施 自主財源の拡充 ●子育で支援:親子、乳幼児向け (愛知県芸術劇場メンバーズ プログラム開発など 制度の拡充など)

劇場と子ども7万人プロジェクトとは

全ての子どもたちに劇場体験を!!

愛知県内には、小・中学生が1学年あたり約7万人います。 愛知県芸術劇場では、地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、 良質な舞台公演に触れてもらうことによって、子どもの文化芸術体験の充実を図る 「劇場と子ども7万人プロジェクト」を、県内の市町村劇場と連携しながら進めています。



海外カンパニーの招聘、巡回公演の実施、 アーティストの紹介、情報の共有等

劇場での舞台芸術体験は、子どもたちの豊かな人間性や感受性を育み、 また、可能性を引き出して伸ばす第一歩となります。

舞台芸術鑑賞に参加した子どもたちは、劇場で行われる舞 台芸術に感動し、それらを支える様々な技術や、スタッフのい きいきとした姿などを目の当たりにし、「生きがい」や「やりが い」にも思いを馳せます。劇場は、心の豊かさを育み、キャリア 教育にもつながる場となるなど、子どもたちの成長過程に必

要で、有意義なプログラムを提供することができます。

愛知県芸術劇場以外にも、県内の市町村劇場では既に学 校向け、子ども向けの取組みが始まっています。今後も、県内 の劇場と連携し、より多くの子どもたちが舞台芸術に触れる ことができる環境を整えていきたいと考えています。

ぜひ、本プロジェクトへの参加をご検討ください。

〈生徒の声〉 →P6.7

「もっと劇場に足を運んで色んな文化に触れたい」 「鳥肌が立つほどすばらしい」「会場が広くて息を飲んだ」 「声楽をめざしてみたい」「職業を選ぶ幅が広がった」 など

〈先生の声〉 →P8.9

「本格的なホールでプロの公演を鑑賞することは、 中学生の体験として相応しく、大切な経験であると思う」 「学習内容に興味を持たせることができる」 など

〈劇場担当者の声〉 →P14~17

「小学生の頃に体験した鑑賞教室でクラシックが好きになり、クラシックに関わる仕事に就いた」 「普段劇場に来ることがない子どもたちを学校が連れてきてくれることはとても効果がある」 など

劇場と子ども7万人プロジェクトの実績

愛知県芸術劇場 オペラ鑑賞教室

愛知県芸術劇場では、「劇場と子ども7万人プロジェクト」の一つとして、 2015年度よりオペラ鑑賞教室をスタートさせました。 本事業は、学校単位で中学生を招待する学校公演事業です。

2015

ヘンゼルとグレーテル』

開催日: 9月18日(金) 会場:大ホール

参加数:8校2,080人

演出:広崎うらん

出演: 小泉詠子

有名なグリム童話から誕生したメルヘンオペラの傑作を、 日生劇場との共催により、学校向けの普及型公演として 開催しました。子どもが鑑賞しやすいように全て日本語 で上演しつつ、本格的な舞台装置を使用するなどして、良 質な舞台公演を実現しました。



日生劇場が製作した豪華な舞台装置







日本が誇る世界的ダンサーで、振付家、演出家として

も活躍している勅使川原三郎のジャンルを超えた斬

新な舞台。あいちトリエンナーレ2016プロデュース

オペラの一般公演に先立ち、中学生に本格的なオペ

2016

『魔笛』 (全2幕・ドイツ語上演・字幕付き)

開催日:9月16日(金)

会場:大ホール

参加数:11校1,927人 演出·美術

指揮: ガエタノ・デスピノーサ

出演:大塚博章 糸賀修平 清野友香利 他

管弦楽: 名古屋フィルハーモニー 交響楽団

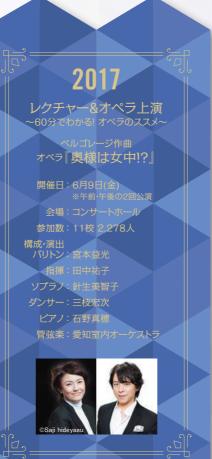


ドイツ語上演のため、一般公演と同様に初 心者でも分かりやすいよう字幕を設置した。





あるということをより強く印象付けた。



劇場と子ども 7万人プロジェクト

オペラ鑑賞教室 愛知県芸術劇場

例年のオペラ公演に加え解説や体験コーナーなどを取り入れ、 よりわかりやすく生徒が親しみやすいプログラム構成としました。 生徒がより広い着眼点をもってオペラを鑑賞できるように、オペラ が、オーケストラや音楽に加え、演劇、文学、衣裳など、様々な要素 による総合芸術であることを事前に説明しました。

体験では代表生徒が舞台に上がり、 照明や効果音の体験を行いました。



一つの舞台公演を様々なプロが支えて いることを実演を交えて説明



代表生徒が照明の効果を体験



舞台上で体験



生徒たちから注目を浴びたコミカルな演出

当日のプログラム構成(午前の部)

〈上演時間:1時間〉

11:00 演奏 挨拶の歌(ピアノ伴奏)

解説 「オペラとは一体何か」

11:05 演奏 モーツァルト作曲オペラ『魔笛』より 夜の女王のアリア

"復讐の炎は地獄のように我が心に燃え"

11:10 体験 代表の生徒が舞台に登場し、

照明や効果音の体験

11:20 演奏 モーツァルト作曲オペラ

『フィガロの結婚』よりフィガロのアリア

"もう飛ぶまいぞこの蝶々"

11:25 上演 ペルゴレージ作曲オペラ『奥様は女中!?』

12:00 終演

案内送付から当日までの流れ(2017年度の例)

案内送付

参加校 決定

5月11日 説明会

プログラム 送付

6月9日 公演当日



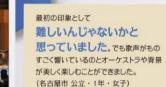


参加した中学生の感想

2017年度のオペラ鑑賞数室終了後、生徒にアンケートを行いました。 中学生ならではの素直な声の中に、今後の課題の解決につながるヒントがありそうです。

「多くの生徒が思った!」

全体を通して



指揮者や雛像奏者は

声を出さないので表情が

表情も大切なんだと思いました。

(名古屋市 公立・2年・女子)

一つ一つとても大きく、

歌だけじゃなく

マイクを使っているのかと疑ってしまう くらい声量があり、驚きました。 歌手の方の体の使い方を これからの合唱に 活かしていきたい。 (設楽町公立・2年・女子)

1人の声で 会場の全体に響かせ、 歌っている人の演技力も すごいなと思いました。

数なのにストーリーの大まかなことが わかって面白かったです。 (半田市 公立・2年・男子)

舞台に上がった先輩達の劇

がとっても面白かったです。 (名古屋市 公立・1年・男子)

初めて聞いたので とてもいい経験になりました。 僕も声楽について いろいろ調べて 声楽をめざしてみたいな と思いました。 (名古屋市 私立・2年・男子)

私はパレエも好きなので、 もっと劇場に足を運んで 色んな文化に触れたい と思います。 (豊明市 私立・3年・女子)

説明しながらだったり、生徒が実際に 参加したり、見ていて楽しかった。 一度自分も舞台に (名古屋市 私立・2年・女子)

指揮を見ると、曲の強弱、 感情などが伝わってきて、 歌なども自然に頭の中に 入ってきた。歌手の人だけが メインでないことを知れた。 (名古屋市 公立・2年・女子)

ちゃんと歌も聞いて ストーリーを理解できて、 友だちが舞台に立った時も 面白かった。 (名古屋市 私立・1年・女子)

オーケストラが あれだけの人数であんなに キレイな音で表睛られ、 とっても印象に残りました。 (名古屋市 公立・1年・男子)

立ってみたいなと思いました。

近くで観ていると役を演じている 人達がすごく汗をかいていたので、 体力を使うものだと分かりました。 (津島市 公立・2年・女子)

最初に、 会場が広くて息を飲みました。 ヨーロッパの文化の魅力を肌に感じました。

(名古屋市 私立・2年・男子)

最後まで楽しんで聞くことができました。 3階席だったのもあると思いますが、 ところどころ台筒が聞き取り辛かったです。 (半田市公立・2年・女子)

「改善してほしい点」 良い。舞台から遠い客席では聞きづらいなど

演目について

眠たくなって寝ちゃいそうだなと 思っていたら 鳥肌が立つほどすばらしく 寝るなんてありえないほどいい舞台でした。 (津島市 公立・2年・男子)

1600年ごろにイタリアから 始まったことや声の質で役が違うこと などたくさん教えてもらい。 「オペラって何?」と 間かれても ちゃんと答えられます。 (名古屋市公立・1年・男子)

曲やストーリーに合った衣裳 を使っていておもしろかった。 (設楽町 公立・1年・女子)

線の細い衣裳のシルエットが きれいだった。 (半田市 公立・2年・女子)

ほおを叩く音に、 あんな洗濯パサミを 大きくしたような物が 使われていたのは意外だった。 (名古屋市 公立・2年・女子)

「イメージが変わった!」

思っていたイメージと違って声や音がきれいだった

ロげんかしていたり 歌を歌っているときに、 オーケストラの人が 合わせていたのがすごい と思いました。

(東浦町 公立・1年・男子)



劇場と子ども 7万人プロジェクト

オペラ鑑賞教室

愛知県芸術劇場

点中川東作

実際にみてみて、 想像していたものよりも すごく声が通っていて ホール中に響き渡っていて きれいでした.

(農明市 私立・3年・女子)

ピブラートがすごくかかってホールに 響いていた。魔笛の夜の女王のアリアは CDで何度も 聞いていたけど、 歌う人によってだいぶ 変わることがわかった。 (西尾市公立・2年・女子)

魔笛の歌があったのがうれしかった。 いつも学校で歌っている 子がいるから (名古屋市 私立・2年・男子)

コメディ要素たっぷりで 初めてでも楽しめました。 舞台に立ってやる解説コーナーも わかりやすくてよかったです。 (西尾市 公立・2年・女子)

指揮者が自分ではなく 他の人に優先して 拍手していた。 (津島市 公立・2年・男子)

裏方・スタッフについて

舞台一つを作り上げるのには、 色々な人たちが関わっているのを知ったので、 次回オペラを見るときは、準備した人、 照明などの裏で頑張っている 人たちにも感謝したい。 (名古屋市 公立・2年・男子)

「意外な発見があった!」 素晴らしい演出や技術に驚いた/職業を選ぶ幅が広がった など

職業を選ぶ幅が広がった と思った。他にも照明などを動かす人たち を、今回注目してみると大変さが伝わって やりがいがある 仕事だなと感じた。 (津島市 公立・2年・男子)

照明の技術がすごくて驚きました。 あんなに遠い所から動かして、 速く動いてもついて 行っていて、オペラをさらに 良くしているんだと思いました。 (東浦町 公立・1年・男子)

引率した先生の感想

「劇場と子ども7万人プロジェクト」の効果やこれからの課題を検討するため、 2017年度のオペラ鑑賞教室を引率した各校の先生に アンケートおよびヒアリングによる調査を実施しました。

満足

56%

先生の声

体験できた。

次回の開催に向けて

参加の意向

先生の声

本格的なホールでプロの 公演を鑑賞することは、 中学生の体験として相応しく、 大切な経験であると思う。

キャリア教育について ふれてほしいとのお願いに 応えてくれてよかった。

劇場と子ども

7万人プロジェクト

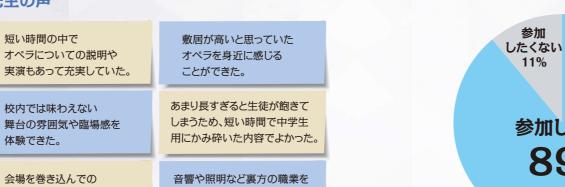
愛知県芸術劇場

山間地では本格的な劇場で 鑑賞する機会が少ないので、 雰囲気を味わえただけでも 参加した価値がある。

2年生の音楽でオペラについて 学習するため、学習内容に 興味を持たせることができる。

次回も参加したいが、 そのために掛ける時間と 労力がないのが課題。

参加したい気持ちは 大きいが、引率の教員の 負担が大きすぎる。



レクチャーや代表生徒への 演技指導などが大変良かった。

生徒たちがオペラ公演で学んだ 発声方法を自分たちの 合唱練習に生かしていた。

参加対象となった授業

総合的な学習の時間

音楽+学活+

音楽+

外国語の部分が聞き取りにくく 字幕があるとよかった。

知ることで、進路の選択肢が

増えたという声があった。

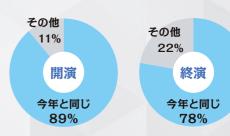
開催時期の希望



6月希望・学校行事を考慮すると参加しやすい…33%

5月遠足、6月修学旅行の為、文化祭前に

開演・終演時間の希望



·開演10時~終演11時希望。

・上演時間が2時間となるようにしてほしい。

ポイント 午前・午後で約同数の申込みがあった。



満足度

100%

今回の参加にあたって

構成・演目についての感想

やや満足

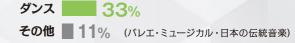
44%

総合的な 11% 学習の時間 総合的な 学校行事 学習の時間 22% 45% 半日は社会見学や校外学習を行い、半日は オペラ鑑賞教室に参加するといった、1日かけ たスケジュールを組む学校が多く見られた。

音楽

11%





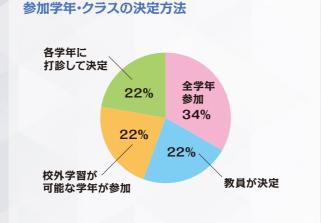
※複数回答あり

キャリア教育・企業訪問後 現地集合 12% 交通機関を使って まとまってきた その他 33% 45% 33%

愛知県芸術劇場までの交通手段

貸切バス

23% 交通機関を使って 現地集合



劇場での公演鑑賞は、子どもたちに本物の舞台芸術に触れる機会を提供します。

課題 会場までの交通手段の確保、参加するための時間の調整や、

オペラ鑑賞教室

参加したい

89%

・日照時間が長い…11%

公演ジャンルの希望

舞台芸術を見せたい(9~11月頃)

先進事例

舞台芸術における子どもたちへの普及教育に取り組んでいる 愛知県内の市町村の事業の一部を紹介します。

市内全校の小学4年生を招待

未来の鑑賞者育成事業

次世代の文化を担う子どもたちに生の音楽の素晴らしさを体 感し、将来に向けて豊かな心を育んでもらうため、名古屋市文 化振興事業団が公益財団法人として得た収益を活用してクラ シックコンサートに無料で招待しています。2014年度から4年 かけ、名古屋市内すべて約260校、約18.000人の小学4年生 を各区の小劇場に招待しました。

[協力]

・名古屋フィルハーモニー交響楽団 ・中部フィルハーモニー交響楽団 ・セントラル愛知交響楽団

・愛知室内オーケストラ



プログラムや鑑賞手引きを記載した『鑑賞マナーブック』を作成し、 来場した子どもたち全員に配布した。

東三河の周辺自治体にも呼びかけ

学校鑑賞公演事業

文化小劇場



プロのオーケストラによる名曲演奏の他、楽器紹介、リズムで 遊ぼう、みんなで遊ぼうなど、小学生が楽しめるプログラム





キャラクタ・

『オケ太郎』

公益財団法人名古屋市文化振興事業団 文化振興部 〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目18番1号ナディアパーク8階 TEL:052-249-9390 FAX:052-249-9392

豐橋市

穂の国とよはし芸術劇場PLAT

穂の国とよはし芸術劇場PLATに優れた芸術家・芸術文化団体 による一般公演を招致するタイミングに合わせ、市内の小中学 校の児童生徒を毎年招待しています。席数に余裕がある場合 は東三河エリアの周辺自治体にも声掛けし、広域的な教育普 及活動も行っています。

◎2017年度開催実績

小学5年生 峯島望美オペラ公演『バスティアンとバスティエンヌ』 小学6年生 劇団四季ファミリーミュージカル 「嵐の中の子どもたち」

中学2年生 名フィルコンサート、鈴木ユキオダンス公演『春の祭典』『Yoyesに捧ぐ』







小学5・6年生、中学2年生のそれぞれの学年に応じた公演を実施





【問い合わせ】 公益財団法人豊橋文化振興財団 〒440-0887 豊橋市西小田原町123番地 TEL:0532-39-8810 FAX:0532-55-8192

市が誇る複合文化施設で一流の文化芸術公演の体験を

心に残る記念事業

子どもたちに本物の芸術に触れる機会を提供し、感動体験を通じ た豊かな情操を育む心の教育を推進するため1989年より約30 年間、毎年、義務教育最終学年の中学3年生を対象とした「中学 生のためのコンサート」を実施しています。なお、1997年から 2015年にかけては、能、狂言に対する関心の向上等を目的とし た「能楽鑑賞教室」も実施しました。

◎2017年度実績

2017年8月22日~24日 豊田市コンサートホール 参加者 市内中学3年生等 4.163人 名古屋フィルハーモニー交響楽団 他



クラシックへの 興味が高まった 96.9%

(2017年度·対象生徒数3,834人) 鑑賞後の生徒アンケートでは、ほとんどの生徒が クラシックへの興味が高まったと回答した。

豊田市

豊田市コンサートホール・能楽堂



管弦楽は名古屋フィルハーモニー交響楽団。ホールのシンボル的な 存在であるパイプオルガンの演奏もプログラムに含まれる。





【問い合わせ】

豊田市コンサートホール・能楽堂 〒471-0025 豊田市西町1丁目200番地 TEL:0565-35-8200 FAX:0565-37-0011

子どもたちに世界第一級のアーティストとの出会いを

小学生鑑賞会

教育の一環として質の高い芸術に触れる機会を設けるため、世 界的なアーティストの一般公演に先駆けて、隔年で市内の小学 生を音楽鑑賞会に招待しています。また、劇場で芸術を楽しむは じめの一歩として、保育園児を劇場に招く「文化の家おいでアー トプロジェクト」にも取り組んでいます。

◎過去3回の開催実績

2013年 『ラ・テンペスタ』(弦楽合奏/フィンランド) 2015年 『タンブッコ』(パーカッション/メキシコ) 2017年 『タンブッコ』(パーカッション/メキシコ)



『タンブッコ』ではキッチン用具を 使った体験も行った。



長久手市文化の家



【問い合わせ】 長久手市文化の家 〒480-1166 長久手市野田農201番地 TEL:0561-61-3411 FAX:0561-61-2510

山間地の小中学生に芸術体験を

へき地芸術教室

本格的な芸術に触れる機会が少ない山間地の子どもたちのため 毎年町内の全小中学生を対象に、舞台芸術鑑賞を実施していま す。子どもたちが幅広い芸術に触れられるよう、毎回異なる分野 の公演を行っています。なお、実施にあたり、愛知県の「ふるさと 出会いの創造事業費補助金」を活用しています。

◎過去3年の開催実績

2015年度 チェンバ郎の移動楽器博物館&アメージングバグパイプコンサート

2016年度 ミュージカル『裸の王様』(小学生対象)

音楽劇『一人で演じる 走れメロス』(中学生対象)

2017年度 和太鼓×マリンバ GONNA





設楽町

設楽町教育委員会



会場は愛知県奥三河総合センターまたは、つぐグリーンプラザ

【問い合わせ】

設楽町教育委員会

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字辻前14番地 TEL:0536-62-0531 FAX:0536-62-1332

1コインを握りしめて劇場へ!

青少年鑑賞サポートプログラム

青少年が文化に親しむことができる環境づくりのため、年間事業 の3分の1以上を鑑賞サポートプログラムに設定しています。伝統 芸能、美術展、クラシックコンサート、演劇など様々なジャンルの芸 術を特別価格500円で提供、一部は無料で招待しています。

◎2017年度開催実績

「熊谷守一展」入場無料(小学生~大学生)

大作曲家の大傑作シリーズ「ベートーヴェン」500円(小学生~高校生) 「島地保武×環ROY「ありか」」招待(小学生~高校生)※愛知県芸術劇場との共催

「松竹大歌舞伎」500円(小学生~高校生) 他





春日井市民会館・文化フォーラム春日井



歌舞伎などのわかりにくいジャンルの公演については、 小中学生やその保護者に向け、職員が事前解説を行っている。





【問い合わせ】

公益財団法人かすがい市民文化財団 〒460-0844 春日井市鳥居松町5-44 TEL:0568-85-6868 FAX:0568-82-0213

先進事例-県外-

「劇場は世界を見る窓である」

中高生鑑賞事業 SPACeSHIPげきとも!

SPAC-静岡県舞台芸術センター

SPAC-静岡県舞台芸術センターでは、「劇場は世界を見る窓 である」という理念のもと、劇場を広義の教育の場と捉え、静岡 県内の中高生を対象とした舞台芸術鑑賞事業を続けています。 校に負担がかからない仕組みになっています。SPAC中高生鑑 現在は年間約35,000人(100ステージ)を目指していますが、 賞事業は、劇団を有する公立劇場だからこそ可能なプログラム これは静岡県の中高生1学年の平均人数にあたります。このプ ランが実現すれば「静岡県の中高生は、6年間の在学時に1度は SPACを観劇できる」ことになります。



『真夏の夜の夢』作:ウィリアム・シェイクスピア 演出:宮城聡

受けているSPACの 舞台作品

SPAC(スパック)とは・・・

全国からの注目を集めています。

静岡県舞台芸術センター(Shizuoka Performing Arts Center: SPAC)は、 静岡市内にある専用の劇場や稽古場を拠点に、俳優、スタッフが活動を行う日本 初の公立文化事業団。1997年より活動を開始し、現在は宮城聰芸術総監督の もと、世界最高峰の演劇祭であるフランス・アヴィニョン演劇祭に公式プログラ ムとして招聘されるほか、地域での活動も展開している。

中高生と引率者の鑑賞料金は無料のうえ、学校から劇場まで

のバスのチャーター料金をSPACが補助するなど、参加される学

です。世界に通用する上質の演劇作品を、静岡で鑑賞することが

できる画期的な事業として、県内の学校関係者はもとより、広く



作品のあらすじや演出家の言葉などから鑑賞体験を深める。

SPAC-静岡県舞台芸術センター 〒422-8019 静岡県静岡市駿河区東静岡2丁目3-1 TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732

『寿歌(ほぎうた)』学校招待公演

終演後は、出演俳優が生徒の皆さんと話しをしたり、

バスのお見送りをしたりなど、上演以外の交流も人気

愛知県芸術劇場とSPAC-静岡県舞台芸術センターの共同企画とし て新しい世界観を生み出した『寿歌』。全国ツアーを実施する中、愛知 県内では、「劇場と子ども7万人プロジェクト」の一つとして、2018年 度に小・中学生を招待する公演も行います。



知立市:2018年6月13日(水)~15日(金) ※一般公演:16日(土) パティオ池鯉鮒(知立市文化会館) 小牧市:2018年6月21日(木)~22日(金)

※一般公演:23日(土)

作:北村想

出演:SPAC/奥野晃士、春日井一平、たきいみき



座談会

先進事例で紹介した市町村事業の中から、 名古屋市・豊橋市・春日井市・豊田市・長久手市の 各劇場の担当者に集まっていただき座談会を開きました。



参加者

名古屋市文化振興事業団 (文化小劇場等の運営)

宮田 健

穂の国とよはし 芸術劇場PLAT

矢作 勝義

春日井市民会館。

豊田市 文化フォーラム春日井 コンサートホール・能楽堂

光武 真也

山川 愛

文化の家 生田 創

長久手市

Q.小中学生を対象とする事業の概要、運営での工夫 苦労、効果などを教えてください。

生田:長久手市文化の家では、隔年で「小学生鑑賞会」を実施し ています。子どもたちが一生に一度も会わないような世界第一級 のアーティストと出会う機会をつくることを目的とし、近年ではメ キシコのタンブッコというパーカッショングループを招きました。 子どもたちにお玉やフタや箸など何でもいいからお家のキッチン にあるものを持ってくるよう伝えました。公演当日は持ち寄った 道具でアーティストと共演し、会場の一体感を楽しみました。帰宅 後も親子で「今日は何をやったの?」という会話が生まれたことと 思います。

もう一つは「おいでアート・プロジェクト」です。幼稚園児や保育園 児がお散歩の時間を利用して文化の家に来て、事前に渡したチ ケットをもぎってもらい、ホールで演奏を聴く「人生初めての劇場

体験」です。公演後にはバック ステージや楽屋の見学、舞台 上でスポットライトを浴びる体 験もします。最後の質問コー ナーでは声だけ登場する「仙 人」が、子どもたちの疑問に答 えるのですが、これが結構ウケ るんです。子どもたちの心のど



こかに何かの印象が残り、ひょっとしたら将来につながる劇場体 験になればと考えています。

山川:文化フォーラム春日井では、「かすがい文化フェスティバルト を毎年夏に開催しています。市内の文化団体が和楽器、工作、日 本舞踊等を小学生に教えるスペシャルディと、地域で活動する アーティストによる多彩な芸術文化に触れるワークショップを毎 週開催しています。

もう一つの「青少年鑑賞サポートプログラム」は、良質な公演に 学生を招待しようという話から始まりました。先生方へのヒアリン グを経て、「小銭を握りしめてきてもらいたい」という期待も込め て500円という金額設定にしました。演劇公演では、学校の演劇 部の先生が部員の分を取りまとめて申し込むと入場者が一気に 増えます。顧問の先生が熱心で、岐阜方面から見に来られる方も ありました。

矢作:穂の国とよはし芸術劇 場では、学校鑑賞教室と豊橋 市からの委託事業として出前 型のワークショップをやって います。市の教育委員会がこ の事業に力を入れており、希



矢作 勝義

望校を取りまとめてくれるなど協力的です。小学6年生を対象と した劇団四季のミュージカルと、中学2年生を対象とした音楽コ ンサートも実施しています。市内でも電車や徒歩で来られない遠 方の学校を対象に、市教育委員会がバスの費用を負担してくれ ます。ある学校の先生は、「うちの子どもたちの中には、この機会 がなければ一生劇場に訪れることがなかった子どももいたかもし れない」、「今後も参加したい」と言ってくださいました。こういう 機会を設けることが重要だと再認識しました。

なお、小学6年生を対象とした劇団四季の公演は、市内全校の児 童を招待しても席に余裕があるので、東三河の周辺自治体にも 声を掛けています。ただし、市外の学校は自力で来ていただくの を条件としており、どうしても鉄道沿線の学校に偏ってしまうよう です。

光武:豊田市では市内全中学3年生を対象にした招待公演「心に 残る記念事業」を市が主催して夏休みに開催しています。豊田市

コンサートホール・能楽堂としては、学校単位でなく、一 般の子どもたちを対象にした公演を年数回ほど実施し ていますが、周知のため学校にチラシを配る際、学校教 職員の働き方改革の一つで、年間の配布計画にないチラ シは受け付けないということになってしまいました。財団 で予算化して仕分けした上で郵送で送るか、業者に頼んで クラスごとに分けて配るかなどを検討しています。

一般の公演では入場料に当日限定の「ファミ割」というものを設 け、一般が4.000円の場合、親は半額の2.000円、子どもは 1,000円としています。

宮田:名古屋市には約260校の小学校がありますが、

「未来の鑑賞者育成事業」により4年間で市内すべての小学校 を各文化小劇場に招待できました。「未来の子どもたちに投資 する」目的で始めたのですが、当事業団の普及啓発の取り組み をより多くの人に知ってもらう目的もありました。演目は「天国 と地獄」など誰もが一度は聞いたことがある曲を取り入れ、子ど もたちの反応を見ながら次年度の演目を考えます。オーケスト ラの演奏で子どもたちが大好きな「ビリーブ」を歌うことができ ると楽しみにしてくれ、中には手話付きで練習をしてくる学校も あったりします。事後アンケートでは、劇場に来たのが「今回初 めて」という児童が64.6%もいたので、普段劇場に来ることが ない子どもたちを学校が連れてきてくれるのはとても効果があ り、継続しようと考えています。

生田:僕は名古屋市内の小学校出身で、5年生のときに名フィル の鑑賞教室を体験してクラシックが好きになりました。卒業文集 ではみんなが修学旅行のことなどを書く中、自分だけ名フィルの ことを書いています。父がクラシック好きで家でも聴けたのが影 響したかもしれませんが、クラシックに関わる仕事に就いている 現状から、名フィルの取り組みが将来につながった成功例(?)の 一つとして挙げておきます(笑)。

矢作:劇団四季の公演は、四季側のオファーがある限りやり続け たいと考えています。私も未来の子どもたちに投資する「先行投 資」の意味があると思います。

Q.愛知県芸術劇場が実施した学校へのアンケート調査で、 案内を毎年送っていることを知らなかったという回答が 44%ありましたが、この結果をどう思われますか。

宮田:名古屋市文化振興事業団は設立当時の母体が教育委員会 ということもあって、校長会に出席させてもらい丁寧に説明する ことで情報はちゃんと伝わっているようです。

山川:上層部から現場に情報が 届きにくい学校があり、そこが課 題だと思います。劇場に来てい る親御さんに「こんなことやって います」とお知らせをしたら「知 らなかった!]と驚かれ、その方 が校長先生に掛け合ってくだ さったこともありました。



山川 愛

Q.先生との関係を築く上で工夫していることはありますか。

生田:アウトリーチを実施する際、必ず事前にアーティストを連れ て学校を下見し、顔合わせをしています。先生方も忙しいのでど うしても面倒に思われがちですが、一校一校担当の教務主任の 先生に、ときには映像を見せながら丁寧に趣旨を説明していま す。アーティストの人柄や意思が伝わることが重要で次に訪れる ときには顔見知りにもなれています。先生方は数年で異動します が、長く続けているとアウトリーチを始めた頃に応援してくれてい た先生が、今は校長会の会長をやっていたりして、すごくやりやす いです。そういうこともあって、先生方とのコミュニケーションの 場を設けることはとても重要だと思います。

光武:市の教員で組織される「教育研究会音楽部会」へ直接足を 運んで告知をしています。皆さん音楽の先生なので興味を持つ て話を聞いてもらえます。

Q.作品選びは「子どもが楽しめるもの」と「上質なもの」の どちらを重視しますか。

矢作:子ども向けの仕掛けが必要だと思います。時間配分や席の 明るさ、音量なども含めて子どもたちを意識したプログラムづく りをしないと、良質なものでも伝わらないと思います。以前、狂言 のワークショップ+鑑賞公演を小学4年生に向けて実施した際、 パンフレットなどで事前に情報提供し、NHKでもやっているよう に声を出して体を動かしてもらい、説明もした上で鑑賞しても らったのですが、少し難しかったようでした。これが5・6年生だっ たら反応が違っただろうと思いました。

Q.劇場への交通手段はどんな状況ですか。

光武:豊田市内には、名鉄や愛知環状鉄道が走り、その沿線の学 校は電車で来ますが、その他はすべてバスを使用しています。バ ス代はすべて市の教育委員会が負担します。

生田:長久手市では、学校からバスが必要条件と言われており、 バス代は劇場が負担します。

宮田:名古屋市では、学校によっては劇場まで遠いところがある ため、名古屋市交通局と学校側が直接連絡を取り合い、貸切り で市バスを手配し、迎えに行っています。

Q.チケットは発行していますか。

宮田:名古屋市では、チケットを生徒一人ひとりに事前に配り、公

演当日は入口でチケットをも ぎってもらう体験をさせたかっ たのですが、学校側から事前配 布の手間は省きたいというお話 があり断念しました。



宮田 健

Q.上演時間はどれくらいですか。

生田:長久手市では、公演は午前中のみで12時の給食までには 帰ることが条件となっているため、準備や出演者との時間調整が 大変です。

宮田:名古屋市では、以前は午前と午後でやっていましたが、午 後の公演は人気がなかったため、全て午前にしました。

矢作:劇団四季は2時間程度の公演のため、午前中の公演は終 演が12時頃になります。近くの学校は終演後に帰っても給食に 間に合いますが、遠くの学校はお弁当を持ってくる場合もあるの で、食事のためのスペースを開放しています。

Q.騒いでしまう児童生徒にはどのような対応をしますか。

宮田:児童が騒いだ場合でも、児童の劇場に対するイメージがマ イナスにならないよう先生には「叱らないでください」とお願いし ています。待ち時間などしゃべってもいい時と演奏中など静かに する時などメリハリを付けてもらえば良いと思っています。

山川:学校毎に児童・生徒を固めてしまうところをあえてバラバラ に配置し、他校の知らない生徒と隣り合うことで静かにさせてい るところもあるそうですが、これは先生の負担が大きくなってし まうためなかなか真似できませんね。

光武:数校が一緒に鑑賞するので、先生たちが目を光らせており、 騒ぐ生徒はいませんね。劇場側としては、そのことが窮屈に思えて 足を運ぶ際のハードルにならなければ良いと思っています。

Q.事業の評価方法(指標)はどうしていますか。

生田:客観的な指標が少なく苦労しています。一般公演ではチ ケットの売上げが問われることがありますが、学校招待公演にお いてはどんな指標が適切なのかは難しいです。

宮田:名古屋市では定量的な指標は出していますが、定性的な 指標を出すのはやはり難しく、今後の課題だと思っています。

光武:評価という意味では心に 残る記念事業で「クラシックへ の興味が高まった」という回答 が平成29年度で96.9%と出て いるのに対し、能楽鑑賞では7 割程度と、評価率が低くて費用 対効果を理由に廃止になった事 業もあります。



光武 真也

Q.小・中学校学習指導要領が改訂されましたが、

今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

山川:キャリア教育の場が多くなり、職場体験で来た学生から 「(劇場スタッフになるために)美術系・音楽系大学に行かないと いけませんか」と聞かれ、「どこの学部に入ればなれるのか」とい う具体的なことを知りたがっていることが分かりました。職場体 験を受け入れる企業が減っている中、公共で受けないといけな いと思っています。また、小学生の場合は近くの公共施設に行っ て何をしているのか聞いてくる宿題があり、突然来る場合でも全 て受け入れるよう心掛けています。

生田:中学校で「市内で仕事をしている人に学ぶ」という授業に 呼ばれたときに、子どもたちに「文化の家でやってみたいこと」を 聞いたら、文化の家が何をやっているところかそもそも知らない という雰囲気でした。授業後のアンケートでは何人かは「文化の 家で働きたい」「何をやっているところかようやく分かった」とい う声があり、こういう機会があると良いと思いました。

矢作:高校生と創る舞台事業の際に、音響・照明・美術・衣裳などの プロのスタッフのアシスタントに高校生を付けると、舞台を創るた めにはこういう仕事があったのだと気が付くとともに、将来このよ うな仕事がやりたいという高校生が出てきたりしています。

Q.広域的な取り組みとして考えられることはありますか。

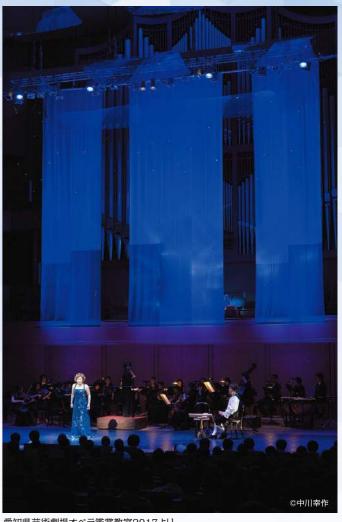
矢作:小さめのオペラを県内複数箇所で展開している事例が他 県にあるように、県内の他の劇場と連携して一つの公演を招へ いする方法が考えられると思います。一般向けにチケットを販売 しようとすると大きい劇場と小さい劇場で同じ金額は取れない ので難しいところもありますが、鑑賞教室なら可能性があるかも しれません。ただし、アーティストのスケジュールや劇場の空き状 況などタイミングの問題もあります。また、出前型のワークショッ プは各学校に合わせてプログラムやファシリテーターを決める

オーダーメイドのようなところがありますので、検討すべき課題 はいくつかありますね。

Q.愛知県芸術劇場に期待する役割は何ですか。

矢作:一番は情報拡散だと思います。地域による情報格差が生じ ないよううまく拡散していくため、情報のハブのような役割を 担っていただきたいと思います。

長時間にわたって、活発な意見交換をしていただき、 ありがとうございました。



17

愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室2017より



アートの、その先にみえること

名古屋芸術大学 教授 梶田美香

国内に3,000近くあると言われる劇場のほとんどが、各自治体の税金を投入して建設されている公立劇場である。この事実は、多くの劇場に、手軽さや気軽さを伴うアートとの出会いの機会を当該地域の市民に万遍なく提供することを課し、人々がアートに接する意味は何か、社会にとってアートはなぜ必要なのか、といった哲学的課題を突きつける。本稿では、本事業の趣旨に従って、子どもたちがアートに接する意味について考えていきたい。

アートを構成する素材は、音、色、形、言葉、動き等、様々である。それらによって創り出される架空の世界を我々はアートと呼ぶ。鑑賞者は素材を入り口として架空の世界に入り込み、その世界にしばし滞在する。その時に何が起きるのか、鑑賞後に何が残るのか、それらが鑑賞者にとっての意味となる。子どもにとってのアートの意味をこの2点から考えていこう。

まずは、鑑賞時に子どもたちに起きることだが、鑑賞後の感想 文をデータとして心理変容の分析を行うと7つのカテゴリーが 表れる。「感心・感動」「満足・喜び」「意欲・要望」「発見・理解」 「アーティストへの共感」「イメージの想起」「美への共感」だ。これは鑑賞経験の少ない時には前者の4カテゴリーしか現れず、 経験を重ねていくと後者3カテゴリーが表れてくる。この結果を 次のように考察できる。鑑賞のインパクトは大きく、驚きとともに 様々な感情が子どもたちに表れる。しかし経験が重なるとイン パクトが落ち着き、作品に寄り添いながら他者に目を向けたり、 想像力を膨らませたり、作品の世界にさらに入り込んだりする。 そしてこの心的変容が鑑賞後に影響をもたらす。鑑賞行為とは、架空の世界から現実を客観視し、現実を再構築する行為であると筆者は考えるが、他者へのまなざしやイメージの広がり、作品への没入は、何らかの教育的支援や鑑賞の機会の重なりによって、現実の再構築へとつながるのではないだろうか。現実の再構築とは、つまり「今、ここ」にとどまらずに、まだ見ぬ世界に向けて切り開いていく力である。「生きる力」とも表現できる。

これらのことから、アートに接する経験数の重なりは、共感する他者の多様化、共感する美の深層化、イメージの多層化などを引き出すことが予測され、それによって「生きる力」に好影響があるだろうという期待がある。2015年から小中学校を対象に始まった「劇場と子ども7万人プロジェクト」が愛知県内すべての子どもたちを対象にしていることの素晴らしさは、「生きる力」を全ての子どもたちが身に付けるチャンスに恵まれることにある。そして、施設利用にとどまりがちな学社連携*の取り組みが、新学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」として実態として実現することも価値が高い。「今、ここ」を切り開く力の育成と、それに至る事業のシステムは、まさに今日的な劇場の社会的役割として評価できる。ますますの事業の発展を祈りたい。

*学社連携とは、学校教育と社会教育の協力関係を示す言葉(「教育用語辞典」 ミネルヴァ書房、2003年)。両者が関わりながら教育の質の向上を目指す考えに 基づいているが、両者が互いのスタンスを変えないという基本姿勢があるため、 実際には、日曜日にグラウンドを地域に開放するというような施設貸し出しに終わりがちな傾向もある。一歩進んだ概念に「学社融合」がある。

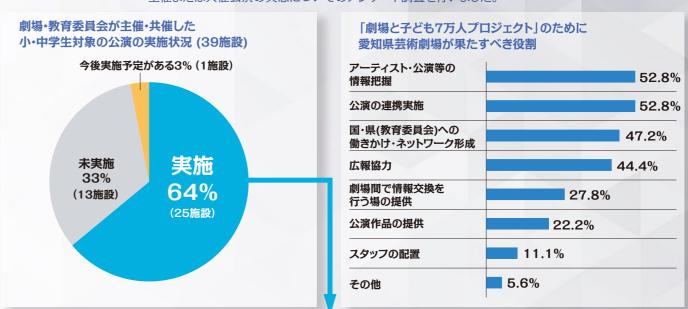
[執筆者プロフィール]

専門領域は音楽芸術におけるアウトリーチ活動、劇場のエデュケーションプログ ラム、アートによるまちづくりなどで、劇場のアウトリーチ事業やアートプロジェクト の効果測定に関する研究が多い。博士(人間文化)。

参考資料 1

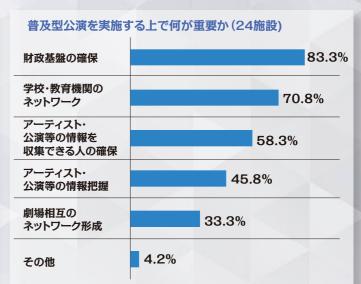
2015年度 県内の小中学生を対象とした普及教育事業に関する実態調査

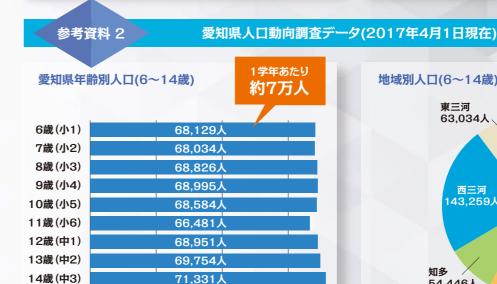
愛知県内の劇場・音楽堂を対象に 主催または共催公演の実態についてのアンケート調査を行いました。 (愛知県芸術劇場調べ)



「実施している」劇場の回答

事業内容 (全87事業) 音楽 50.0% 演劇 42.3% 伝統芸能 23.1% 薄芸 7.7% 舞踊 7.7% その他 34.6%

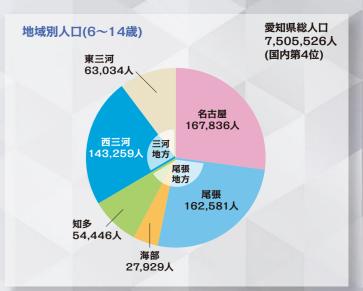




20.000

40,000

60,000 (人)





発行 / 愛知県芸術劇場 (公益財団法人 愛知県文化振興事業団)

〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 TEL. 052-971-5609 http://www.aac.pref.aichi.jp 編集/株式会社都市研究所スペーシア 株式会社ビックウエスト